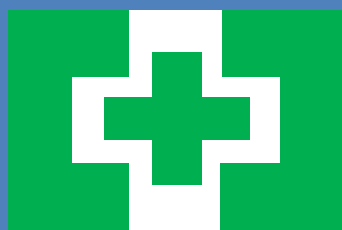


転倒災害防止を
中心とした

事業場における労働災害防止活動事例集

～ゼロ災Challenge!2016実施結果より～



ゼロ災Challenge!2016



石川労働局労働基準部健康安全課

【はじめに】

労働安全衛生法では、労働災害防止を目的とした各種の義務が定められています。法令を遵守することは企業経営上当然のことではありますが、それだけでは労働災害を発生させないこと（「ゼロ災」）を実現、継続していくことは困難です。

ゼロ災を実現、継続するためには、各事業場において、自主的な安全衛生管理活動を継続的かつ効果的に実施していただくことが必要不可欠です。

本書においては、「ゼロ災Challenge！2016」においてゼロ災を達成した事業場における創意工夫を凝らした取組みを紹介しています。

本書が、これまで具体的な取組みを行ったことがない事業場における取組み開始のきっかけや、これまでなかなか取組みが継続しなかった事業場における今後の取組みのヒントとなることを期待しています。

〔参加事業場数〕

業 種	管轄署別					労働者規模別 (人)			
	金沢	小松	七尾	穴水	合計	～49	50～99	100～	合計
製 造 業	16	6	6	2	30	11	5	14	30
建 設 業	42	5	3	3	53	39	9	5	53
運 輸 交 通 業	12	3	1	1	17	11	4	2	17
商 業	3			1	4	2		2	4
そ の 他	7	2	1	1	11	3	4	4	11
合 計	80	16	11	8	115	66	22	27	115

〔達成事業場数〕

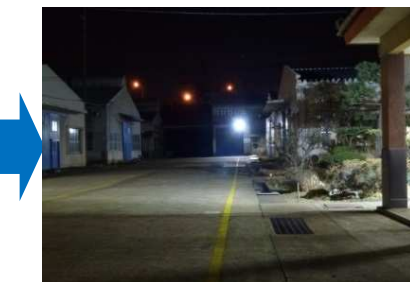
業 種	管轄署別					労働者規模別 (人)			
	金沢	小松	七尾	穴水	合計	～49	50～99	100～	合計
製 造 業	14	5	5	2	26	11	5	10	26
建 設 業	34	5	3	3	45	34	7	4	45
運 輸 交 通 業	7	2	1	1	11	7	2	2	11
商 業	2				2	1		1	2
そ の 他	6	1		1	8	1	3	4	8
合 計	63	13	9	7	92	54	17	21	92

達成率80.0%

【取組事例1】 北陸ケーティーツール株式会社（羽咋市、金属製品製造業）

【取組内容】

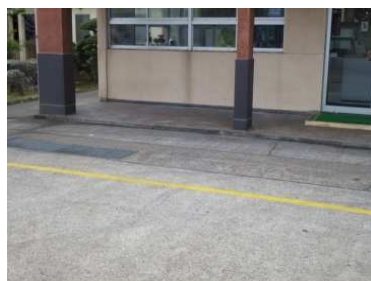
ゼロ災Challenge!2016実施期間に合わせ、事業場内の総点検を行い、転倒危険箇所の洗い出しを実施。その結果を基に、屋外通路にLED照明を設置し、つまずきによる転倒災害防止を図った。



LED照明を設置することで、屋外通路の照度を確保

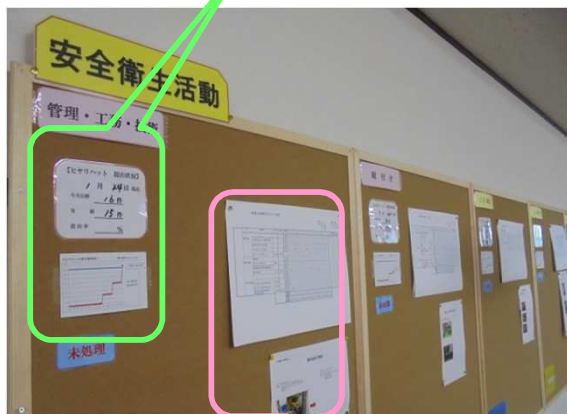
【効果】

総点検によって、普段意識しなかった危険箇所が判明し、効果的な対策が取られた。
また、一連の取組みによって従業員の転倒災害防止に対する意識を高めることができた。



屋外通路の幅を広げ、さらにグリーンベルト化することで、通路の明確化と安全性を確保

ヒヤリハット活動状況



3S活動（カメラパトロール）実施状況

【事業場担当者のコメント】

普段からヒヤリハット活動や3S活動（カメラパトロール）を実施し、その状況を食堂の掲示板に積極的に周知するなどの啓発活動を行っているが、ゼロ災Challenge!2016に参加したことで、より効果的な啓発ができたと思います。

ここがPoint！

安全通路の明確化や照度確保は基本的な事項ですが、転倒災害防止には効果的です。
また、安全管理活動を工夫して周知することは、従業員の積極参加と意識高揚につながります。

【取組事例 2】 株式会社ジェイアールサービスネット金沢（金沢市、小売業）

【取組内容】

職場内の転倒災害発生をきっかけにChallengeに参加。衛生委員会を中心として転倒危険箇所の洗い出しを行った結果に基づき、店舗内のレジ後方の通路を拡張し、不要物品の整理を行った。
また、始業ミーティングでの転倒災害防止指導と履物チェックを実施した。



レジ後方の通路拡張と整理整頓

【効果】

潜在的な危険が多かったレジ後方の通路拡張により、安全が確保されただけでなく、作業性も向上した。
また、始業ミーティング時の履物チェック等により、従業員の意識も高まった。



始業ミーティングにおける指導と履物チェック



制服の見直し

【事業場担当者のコメント】

今回の取組みにおいて、これまでポロシャツ以外は個人に任されていた服装をやめ、安全靴を含めた制服を支給するなど、労働災害防止に向き合うよいきっかけとなりました。
小売業などのサービス業は、お客様に対する安全衛生の確保とともに、従業員への安全性を確保することも重要であると再認識できました。

ここがPoint！

十分な通路幅の確保や不要物品の整理整頓は転倒災害防止においては最も重要です。始業ミーティングでの教育や履物チェック、制服の見直しを含め、いずれも第三次産業の事業場において非常に参考となる対策です。

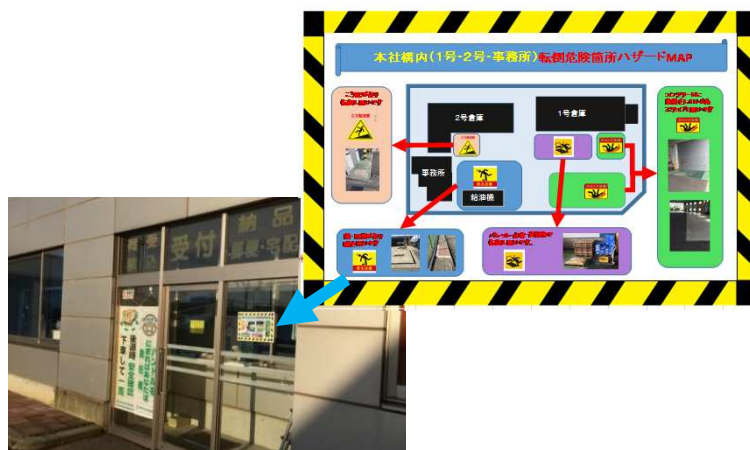
【取組事例3】 上田運輸株式会社（小松市、運送業）

【取組内容】
ゼロ災Challenge!2016実施期間に
合わせ、事業場内の総点検の結果、各
所において照度不足が判明。照度確保
のほか、転倒危険個所を明示した危険
MAPを作成、掲示した。



照明器具（蛍光灯・水銀灯）をLED照明に取り換え

【効果】
照明器具をLED照明としたことで照
度アップと消費電力の削減が図れた。
また、危険MAPを来客受付前に掲示
したことで、納品業者等外部業者へも
危険箇所を周知できた。
さらに、危険MAPの掲示に合わせ、
転倒危険個所に標識を設置したことで、
危険箇所がより明確となった。



危険箇所に標識を設置し、危険MAPを作成し明示



正しい運動方法（トレーニング方法・ストレッチ方法）の教育実施

【事業場担当者のコメント】
取組期間中、職場環境側の対策のみでなく、
人側の対策も必要と考え、正しい運動方法
の教育を実施しました。
その結果、従業員の転倒災害防止への意識
を高めることができたことに加え、健康確
保への意識も高めることにつながったと思
います。

ここがPoint！

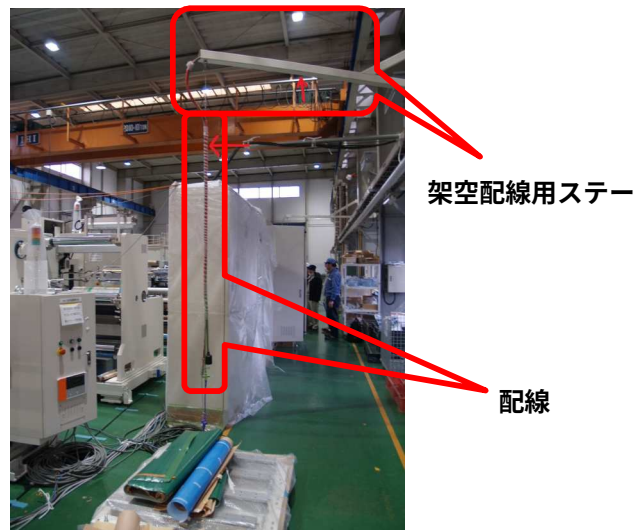
転倒危険MAPの作成はその過程において様々な発見があることから、その他の設備改善等副次的な効果が期待できます。
また、人側の対策も実施することで、意識高揚や健康確保対策につながります。

【取組事例 4】

株式会社オノモリ (能美市、一般機械器具製造業)

【取組内容】

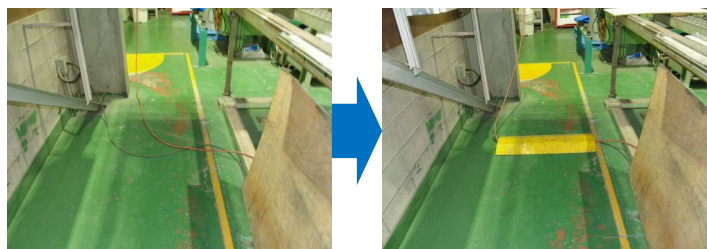
これまで床面に這わしていた工場内の配線を自作のステーにより架空配線となるよう工夫。
やむを得ない箇所は、配線カバーを制作し、危険の見える化のため黄色に塗装した。



架空配線の工夫

【効果】

つまずきの原因となる床面の配線に対策を講じることができた。
また、労使一体となって対策を考えることで、従業員の転倒災害防止に対する意識が高まった。



安全通路を横切る配線のカバー



衛生管理者によるパトロール（左）とクレーンメーカーによる教育の様様（右）

【事業場担当者のコメント】

日常の対策として安衛委員会や衛生管理者によるパトロールを行っています。取組期間中はそれに加えて転倒災害防止対策のほか、クレーンメーカーによる講習を実施するなど、多くの取組みを集中的に実施できたことがよかったです。

ここがPoint！

工場内で電動工具を多く使用する工場ならではのつまずきの原因に、工夫した対応がとられています。

パトロール等、日常の安全衛生管理も地道に実施することでゼロ災害を長期に渡って継続しており、継続的な取組みの重要性を示しています。

【取組事例 5】 株式会社明翫組（金沢市、建設業）

【取組内容】

事務所建物内の階段について、通行方法を限定し、ステッカーにより表示するとともに、踏み外し注意の表示を行った。
また、つまずきの原因となる廊下の配線をテープにより養生した。



階段の通行方向表示と踏み外し防止の注意喚起ステッカー

【効果】

階段の通行方法を限定することでスムーズな通行が可能となり、踏み外し防止の注意喚起によりこれまでより慎重な通行が多くなった。また、何気ないつまずきの原因を見逃さないことで、転倒のリスクがより減少した。



廊下の配線を養生と注意喚起の表示



毎月一斉清掃日を設けて事務所内の4S活動を実施

【事業場担当者のコメント】

ゼロ災Challenge!2016の参加に伴い、建設現場で培った危険に対する感受性で、事務所内の総点検も行いました。

毎月一斉清掃日を設け、事務所内の5S活動を実施していますが、日常の安全活動によって、転倒災害防止を含めた従業員の労働災害防止に向けた意識も向上すると思います。

ここがPoint！

階段は、踏み外しにより労働災害が多発する箇所の一つです。ちょっとした工夫で従業員の階段に対する意識を変えることができます。
一斉清掃日の設定は、業種を問わず取り入れたい取組みです。

【取組事例 6】 石川サニーフーズ株式会社（中能登町、食料品製造業）

【取組内容】
転倒災害防止のためのチェックシートにより各職場において総点検を実施したほか、通勤時における転倒災害防止のため、工場出口において「ながら歩き」「ポケットハンド」の注意喚起声掛け運動を実施した。

【効果】
職場の総点検により、危険箇所の洗い出しができたことに加え、従業員の転倒災害防止に対する意識も高まった。
また、声掛け運動によって、冬季の敷地内における転倒災害防止に効果があった。

2016年8月30日
安全推進部 山崎

ゼロ災 Challenge! 2016 取組活動
あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみよう！！
転倒災害防止のためのチェックシート

部署名: _____

項目	チェック内容	はい	いいえ
1	通路、階段、出口に物を放置していない		
2	床の水たまりや水、油、粉塵などは放置せず、その都度取り除いている		
3	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されている		
4	転倒を予防するための教育を行っている		
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいる		
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知している		
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけている		
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止している		
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れている		

【いいえ】にチェックが入った箇所は下記に詳細を記載下さい。

項目	詳細

※厚生労働省発行のチェック項目を使用
※提出期限: 10月15日(土)16時
※提出先: 安全課・山崎

転倒災害防止のためのチェックシート



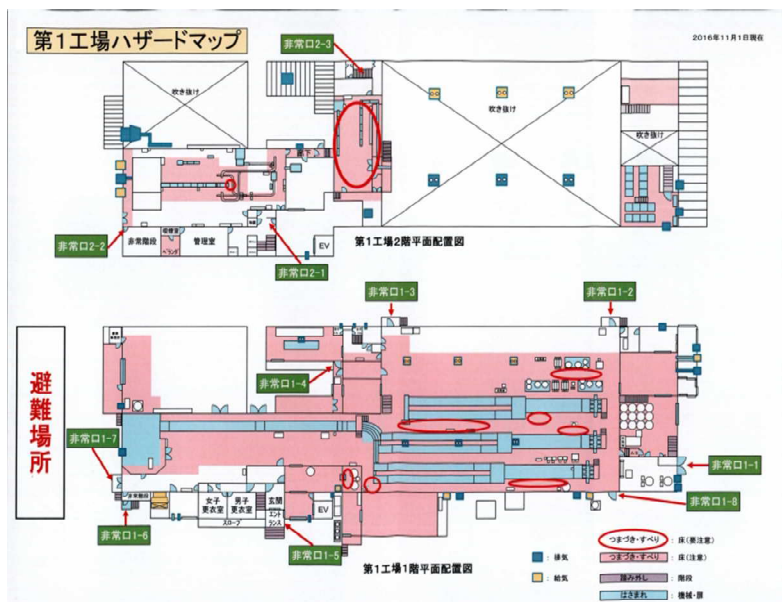
ゼロ災チャレンジ2016 12月活動
『ながら歩き』『ポケットハンド』注意喚起の声掛け運動
※作業中または通勤時のみ実施する。また、歩行中に一時停止して安全確認を行う。
※歩行中に他人の安全を確認し、下駄に気を配る。
※歩行中に他人の安全を確認し、下駄に気を配る。

実施場所: 12:30～ 第1工場正副玄関及びスロープの中間の2箇所
: 16:00～ 第1工場正副玄関階段歩道及び製品倉庫階段歩道の転倒危険箇所の2箇所

実施日時: 12月 日(火) ~ _____

担当者: _____

注意喚起の声掛け運動は、安全確認の声掛け運動と併せて実施して下さい。



多発労働災害ハザードマップ

ポケットハンド注意喚起声掛け運動

【事業場担当者のコメント】
取組みにあたって、発生しやすい労働災害についての工場内ハザードマップを作成するなど、工場全体として取組みができました。声掛け運動は、冬季の転倒防止に大きな効果があったと思います。

ここがPoint！

冬季の事業場敷地内における転倒災害は、転倒災害全体においても相当程度を占めます。声掛け運動は、注意喚起の面では効果が高いと思われます。また、発生頻度の高い災害に着目したハザードマップの作成も効果的です。

【取組事例 7】

東亜電機工業株式会社 P&Dセンター

(小松市 電気機械器具製造業)

【取組内容】

転倒災害防止のための総点検を行った結果、配線のたるみによる通路へのはみ出しが多く認められたため、配線を作業台のフレームに固定することや、新たにスライド式テーブルを作成し、電源コードをコルゲートで束ねるなどにより配線を整理した。また、不用物品を廃棄して、通路を確保した。

【効果】

配線を整理することで機械周辺がすっきりとし、つまずきのリスクがなくなったことに加え、整理整頓された状態が保てるようになった。



配線のたるみを作業台のフレームに固定



機械裏側の配線についてスライド式テーブルの作成と合わせて配線を整理



交通安全声掛け運動

【事業場担当者のコメント】

冬季や年末年始の労働災害が発生しやすい時期の対策にちょうど良いと考え、ゼロ災Challenge!2016に参加しました。期間中は、転倒災害防止を中心と様々な対策を講じたほか、冬季は交通事故も多いため、朝の門立ちで交通安全を呼びかけるなど、広く従業員の事故防止に向けた活動に取り組んだことで、従業員の安全意識向上につながりました。

ここがPoint !

「割れ窓理論」のとおり、整理のされていない状態を放置することは、さらにその状態を進んでしまうことにつながります。整理できる箇所は可能な限り整理し、日頃からの4S活動などで整理された状態を保つことは、転倒災害防止に限らず、その他の労働災害防止や作業性の向上につながります。

日本郵便輸送株式会社 北陸支社（金沢市、運送業）

【取組内容】

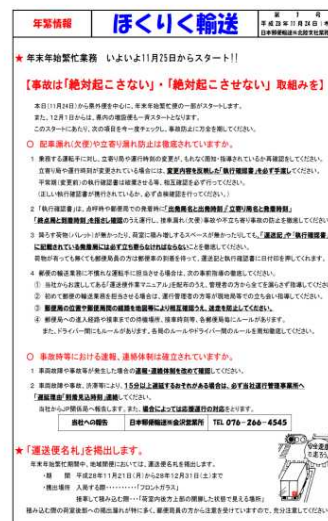
事業場における労働災害発生状況を分析したところ、パレット積み下ろし作業において災害が多発していることが明らかとなったため、当該パレット積み下ろし作業に特化した対策を講じ、労働者に周知した。

12月期 労働災害事故撲滅『強化月間』の取組み

1. 実施期間 平成28年12月1日～12月31日
2. 取組み目標 『期間中の労働災害ゼロ』
3. 平成28年10月末までの発生件数 24件(うちハート発生作業時は58%)



5. 年末年始の注意事項
- 繁忙期はいつもと違った状況が生じます。落ち替いて作業しましょう。
 - 寒い時期です。固まった体をストレッチ等でほぐしましょう。



ここがPoint！

災害発生状況を詳細に分析した上で必要な対策を講じていることから、効率よく効果的な対策が講じられています。災害発生件数の少ない事業場は、ヒヤリ・ハット事例を集積し、分析することでも同様の効果があります。

【取組事例 9】

森土木工業株式会社（輪島市、建設業）



【取組内容】

事業場の入口に周知用リーフレットを掲示したほか、従業員が必ず通るタイムカードの横にゼロ災Challenge!2016のゼロ災宣言書を掲示することにより従業員に労使一体となった取り組みであることを強調する意識づけを行った。

また、「挑戦 ゼロ災害」の掲示を行い、積極的な行動によってゼロ災を達成することを意識づけした。

ここがPoint！

労働者が必ず通る入口や、立ち止まるタイムカード打刻機の脇に啓発用掲示を行うことは、毎日目にすることから効果的です。

また、「挑戦」の言葉は従業員のモチベーションアップにつながると考えられます。

【まとめ】

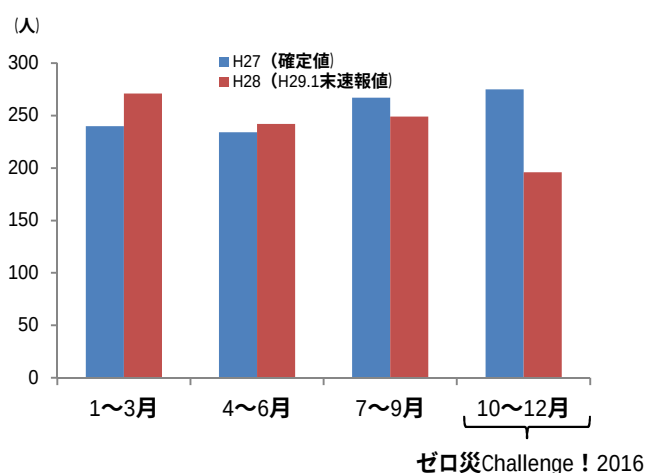
事業場における労働災害防止活動を効果的、効率的に行うにはどうすればよいか、と悩む担当者の方は少なくないと思います。

リスクアセスメントや毎月のパトロールなど、地道な取組みを継続しているが、なかなか効果を実感できないと言われる担当者の方もいます。

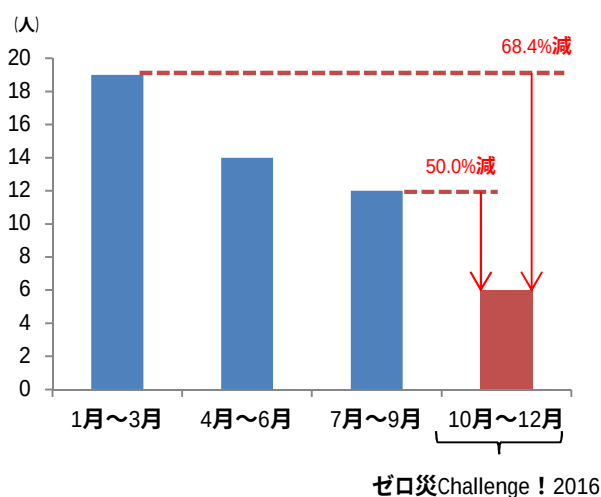
今回、労働災害の増加が見込まれる時期をとらえ、短期的で主たるテーマを転倒災害防止として実施したゼロ災Challenge! 2016の結果、大きな労働災害減少効果が認められました。このことは、事業場においても適切な時期に集中的な取組みを行うことで、効率よく結果を得られることを示しています。

労働災害を生活習慣病に例えると、ヒヤリハットや不休災害を敏感にとらえ、状況に見合った即効性のある対策を短期的かつ集中的に行う取組みは具体的な症状を改善する薬物療法に、中長期的な視野に立ち、安全管理レベルのボトムアップを狙う日々の労働災害防止活動は、メタボを改善する運動療法に当たります。そのどちらが欠けても本質的な改善はありません。その二つをうまく調和させることで、症状を抑えながら病気の原因を改善する、すなわち、ゼロ災を継続しながら安全レベルの向上を図ることが可能になるのではないのでしょうか。

四半期別労働災害発生状況
対前年比較（石川労働局）



ゼロ災Challenge! 2016参加事業場における
四半期別労働災害発生状況
(有期事業を除く H29.1.未速報値)





STOP! 転倒災害

プロジェクト

厚生労働省と労働災害防止団体では、転倒災害を撲滅するため「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。

事業者の皆さまは、職場の転倒災害防止対策を進めていただくとともに、プロジェクトの重点取組期間（2月、6月）には、職場の総点検などにより、職場環境の改善を図りましょう。

転倒災害防止に役立つ情報は・・・

STOP! 転倒

検索

安全衛生優良企業 は、**労働者の安全や健康**を守る**企業の証**です。



安全衛生優良企業公表制度の詳細は・・・

職場のあんぜんサイト

検索